

## 第 5 回気象予報士 CPD 制度創設準備委員会 議事録

日時：2011 年 4 月 28 日（土） 14 時 00 分～17 時 00 分

場所： 麹町区民館 洋室 A

． 委員・事務局員及び出欠席（敬称略、以下同じ）

### 委員

- 田中 博 社団法人日本気象学会 常任理事 教育と普及委員会 委員長  
筑波大学生命環境科学研究科 教授
- 石井 伸幸 株式会社ライフビジネスウェザー 業務推進本部 本部長
- 杉浦 幸彦 いであ株式会社執行役員 沿岸・海岸事業部 部長代理
- 高田 吉治 株式会社応用気象エンジニアリング 代表取締役 社長  
一般財団法人気象業務支援センター 評議委員会 議長
- 田代 大輔 NPO法人気象キャスターネットワーク 事務局次長
- 平松 信昭 一般社団法人日本気象予報士会 理事 副会長  
( 委員長)

### オブザーバー

- 吉武 正憲 株式会社ウエザーニューズ チームリーダー
- 酒井 重典 一般社団法人日本気象予報士会 代表理事 会長

### 事務局

- 平松 信昭 事務局長
- 作野 悠介 一般社団法人日本気象予報士会 常務理事 技能研鑽担当幹事
- 與語 基宏 一般社団法人日本気象予報士会 常務理事 学術研究・CPD 担当幹事
- 雨宮 浩樹 一般社団法人日本気象予報士会 常務理事 法務担当幹事（欠席）

． 議 事

#### 1．委員長あいさつ

今日で第 5 回になり、準備委員会としては最後で、6 月の日本気象予報士会の総会を経て正式に動き出すこととなります。これで、一つの区切りとなりますが、これまでご苦労様でした。また、引き続き、実施に向けてこれからもご協力をお願いします。

#### 2．第 4 回の議事録確認

第 4 回の議事録案の説明後、出席者全員の了解を得て、第 4 回の議事録を確定した。

#### 3．気象予報士 CPD 制度創設準備書案の検討

事務局より、前回の準備書案の内容についての事務局の修正と準備書案の説明があり、内容について議論された。

#### 1) 気象予報士 CPD 制度の概要 (目的と必要性)

- ・ 準備書とは、実施要領案とする。
- ・ CPD の目的だけでなく、効果についての記述もあった方が良い。
- ・ 「技能研鑽」か、「技術研鑽」か、については、「技能研鑽」に統一する。

#### 2) CPD プログラムの分野と形態

- ・ 教育分野を説明する構成イメージ図 (図 1) に議論があった。
- ・ 教育分野での関連技術と基礎知識の関係について議論があり、基礎知識および関連技術でまとめて 10 ポイントとする。
- ・ 事務局の補足説明として、取得目標の、「初回の認定時」とは、制度の開始時だけではなく、各人が CPD 認定に参加する初年度を意味する旨、説明があった。
- ・ 初回の認定が 20 ポイント以上での認定は、制度の信頼度を下げるなどの意見があったが、引き続き CPD 認定に参加を勧めるため、当面はこの基準を採用することとした。
- ・ 事務局の補足説明として、監査対象の抽出割合は数パーセント (全体の数による) と考えている旨、説明があった。

#### 3) CPD プログラムの認定

- ・ 事務局からの補足説明として、運営委員会の構成は、10 人程度を想定している旨、説明があった。
- ・ 運営組織は、運営委員会のもとに認定委員会 (認定プログラム)、監査委員会 (記録の監査)、事務局がある。
- ・ 各委員会の代表は、運営委員会に参加する。

#### 4) システムの基本設計

- ・ 特に意見は無かった。

#### 5) 運営費用案

- ・ 運営委員会に参加する企業からの資金提供を期待したい。
- ・ 初期経費は 300 万 ~ 400 万円を想定している。
- ・ 運営費用となる参加会員の年会費は、他の CPD 制度を参考とし、1,000 ~ 3,000 円が適切ではないかと考えられる。

#### 6) 今後の作業

- ・ 運営委員会の構成
- ・ 初期費用の調達
- ・ 運営計画 (規定) の策定、会社でいえば事業計画が必要
- ・ 日常の経費は会費で賄う。

以上